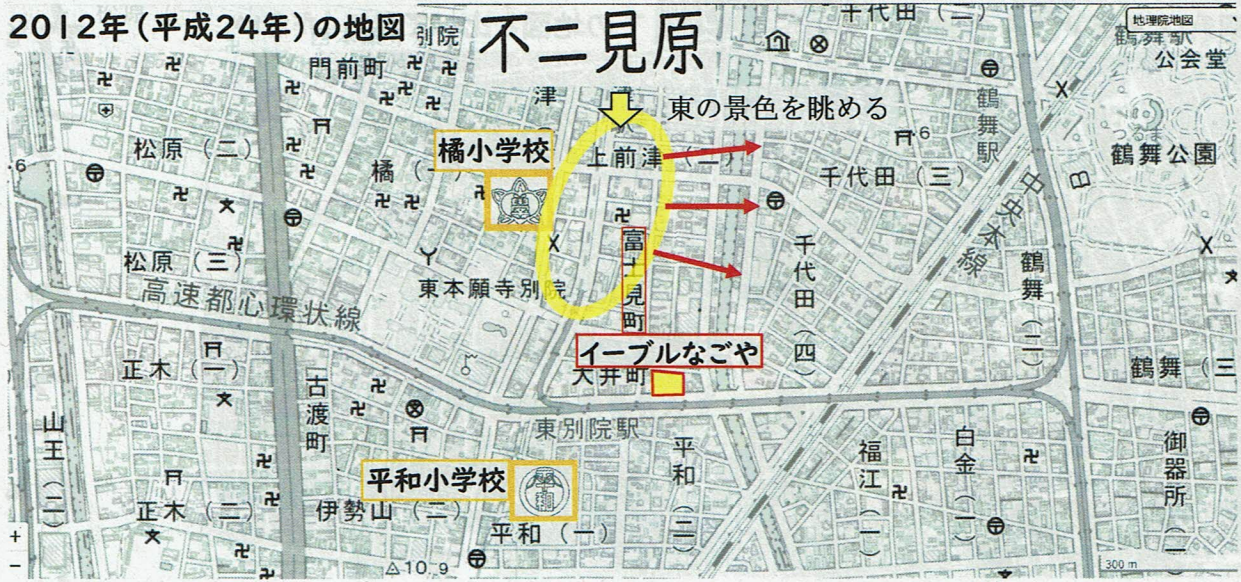


# かつてここから見た大井町・富士見町

二月二十三日  
除幕式 資料



一九七八年(昭和五十三年) 婦人会館・大井プールがオープン

市営大井プールの場所に、婦人会館ビルを建て屋上に市営大井プールを設置

一九九一年(平成三年) 女性情報センターを併設し名称を女性会館に変更

二〇〇八年(平成二十年) 市営大井プール閉鎖

二〇一四年(平成二十六年) 女性会館に男女平等参画推進センターを併設し、施設の愛称を「イーブルなごや」とした

かつしかほくさい か ふじみちよう

## 葛飾北斎が描いた富士見町

○葛飾北斎の人生

一七六〇年(宝暦一〇年)「葛飾北斎」江戸で誕生

一七七九年(安永八年)浮世絵師「勝川春章」に入門(二〇歳)

一八〇六年(文化三年)このころ「葛飾北斎」の名を使い始める(四七歳)

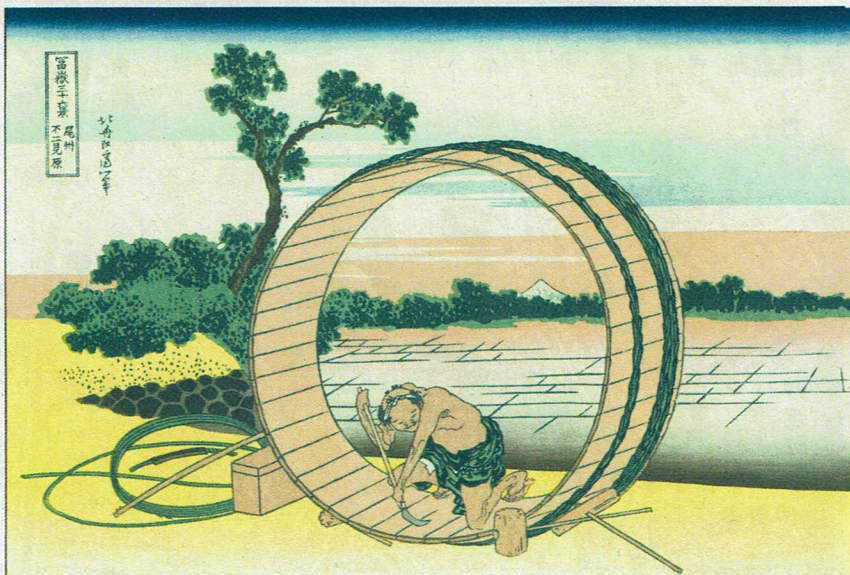
一八一二年(文化九年)関西旅行の途中名古屋に寄り牧墨僊の家に滞在し「北斎漫画」の下絵を描いた(五三歳)

一八一四年(文化十一年)絵本「北斎漫画」が本屋で発売される(五五歳)

一八一七年(文化十四年)名古屋の西別院で二〇〇畳敷の達磨絵を描く(五八歳)

一八三一年(天保二年)「富嶽三十六景」が発売されたと伝えられる(七二歳)

一八四九年(嘉永二年)江戸の自宅で亡くなる(九〇歳)



尾州不二見原 葛飾北斎「富嶽三十六景」

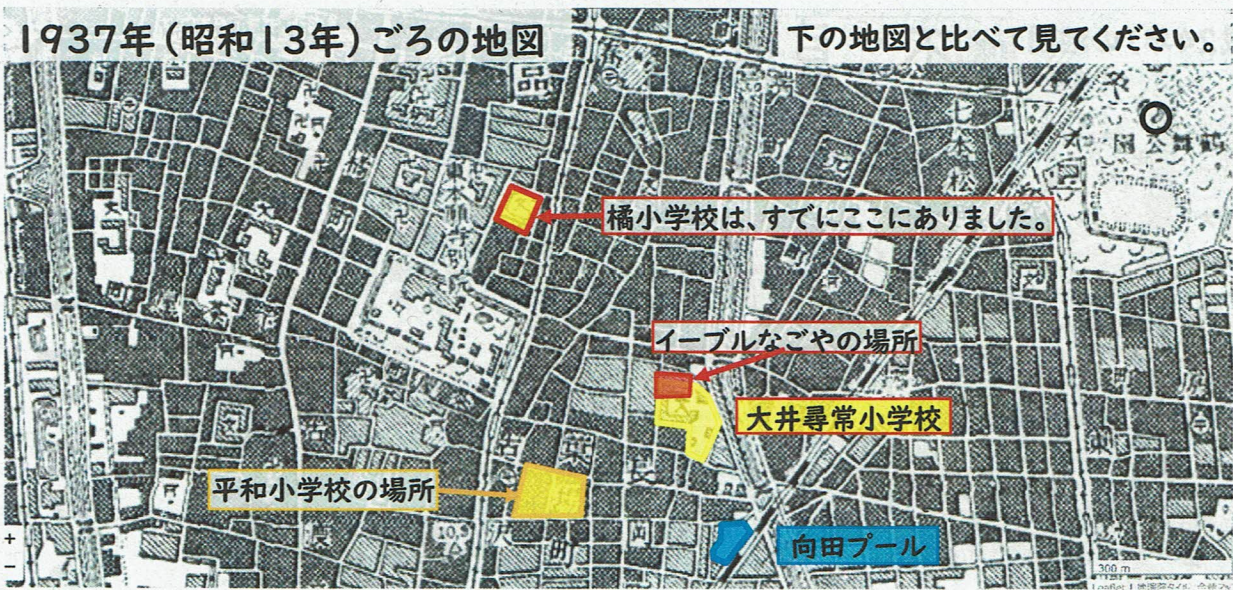
作品は、昔、富士見町の辺りにあった「不二見原」という場所から描いています。二つと見ることでできないような絶景を望める地「不二見」の名前から町の名前がついたとも言われています。

# かつてここから見た大井町・富士見町

二月二十三日  
除幕式 資料

下の地図と比べて見てください。

1937年(昭和13年)ごろの地図



●明治のはじめこのあたりは、愛知郡前津小林村・東古渡村

一八八八年(明治二十二年)名古屋誕生

一八九六年(明治二十九年)前津小林村は、名古屋市へ合併

一八九八年(明治三十一年)東古渡村は、名古屋市へ合併

一九〇九年(明治四十二年)鶴舞公園オープン

一九一〇年(明治四十三年)新堀川完成

一九一一年(明治四十四年)東古渡村字大井戸を大井町と地名を変更

一九一三年(大正二年)ここイーブルなごやに大井尋常小学校開校

一九三六年(昭和十一年)向田町に市営向田プールがオープン

おおいじんじょうしょうがっこう  
大井尋常小学校へは、葉場町・大井町・向田町・長岡町・流町・西川端町・  
藪田町(大井町、富士見町、平和一丁目・二丁目、千代田四丁目)の子どもた  
ちが、通学しました。

一九四五年(昭和二十年)大井・橘 国民学校(小学校)など中区のほ  
とどの学校が、戦災によって焼失

一九四六年(昭和二十一年)大井・古渡・波寄の学校が合併し、平和  
国民学校(小学校)が開校

一九五四年(昭和二十九年)向田プールが大井町へ引っ越し、大井国民学  
校があったここに市営大井プールがオープン

2012年(平成24年)の地図

